

問1 現代の生産活動において、製品を完成させるまでの工程を分担したり、役割を分けたりする仕組みを「分業」といいます。この分業を導入する最大の目的として、最も適切なものはどれですか。（2024年 高山公立入試 類似）

1. 一人の労働者がすべての工程を担当して職人的な技術を磨くこと
2. 生産工程を細分化することで、全体の生産効率を向上させること
3. 生産コストをあえて増やすことで、製品の希少価値を高めること
4. 企業間の競争を避けるために、特定の製品だけを生産すること

問2 需要と供給のバランスによって決まる価格を市場価格といいます。電気やガス、水道料金のように、国民生活への影響が大きいため、政府や地方公共団体が決定または認可している価格を何と呼びますか。（2020年 徳島公立入試 類似）

1. 独占価格
2. 公共料金
3. 均衡価格
4. 固定価格

問3 流通の合理化が進む中で、卸売業が果たしている役割や機能についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 徳島公立入試 類似）

1. 多数の生産者から商品を集め、それを多くの小売業者へ小分けにして配送することで、社会全体の取引回数を減らし効率を高める機能
2. 原材料を加工して新しい製品を造り出し、生産コストを抑えることで商品価格を低下させる機能
3. 店舗を持たずにインターネットなどを通じて、生産者が消費者に直接商品を販売する仕組みを提供する機能
4. 消費者に直接商品の使い方を説明し、個々の消費者のニーズに合わせて商品を販売する機能

問4 市場経済において、企業同士が自由に価格や品質を競い合うことは、良質な商品が安く提供されるために不可欠です。この自由な競争を妨げる行為がないか、独占禁止法に基づいて厳しく監視・指導を行う、他府省から独立して職務を行う行政機関を選びなさい。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 公正取引委員会
2. 消費者庁
3. 経済産業省
4. 金融庁

問5 2008年における日本の第三次産業の生産額のうち、医療・福祉などを含むサービス分野は約127.1兆円と大きな規模になっています。このように、日本の国内総生産において医療・福祉に関連する分野の重要性が高まっている社会的な背景として、最も適切な事柄を次の中から選びなさい。（2016年 愛媛公立入試 類似）

1. 高度経済成長による大規模な公共事業の増加
2. 少子高齢化の進展に伴う社会保障需要の拡大
3. 情報技術の革新による製造業の自動化
4. 食生活の変化による農作物の生産品目多様化

問6 需要曲線と供給曲線を用いた分析において、ある時点の価格における「供給曲線が示す数量」が「需要曲線が示す数量」よりも右側に位置している場合の市場の動きとして、最も適切な説明を選びなさい。（2019年 山口公立入試 類似）

1. 買い手よりも売り手の希望が上回る超過供給の状態であり、価格には下落圧力が加わる
2. 売り手よりも買い手の希望が上回る超過需要の状態であり、価格には上昇圧力が加わる
3. 需要と供給が一致している状態であり、価格の自動調節作用によって価格は固定される
4. 価格が高すぎて市場が機能していない状態であり、公定価格による政府の介入が行われる

問7 「消費者の四つの権利」を提唱し、現代の消費者保護のあり方に大きな影響を与えたアメリカの大統領として正しい人物を選んでください。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. ケネディ
2. リンカーン
3. ウィルソン
4. ワシントン

問8 市場経済において、ある商品の需要量が供給量を上回る「超過需要」の状態が発生した場合、その後の市場価格の動向とその理由として最も適切な説明はどれですか。（2018年 高知公立入試 類似）

1. 商品が不足するため、買い手の間で競争が起こり、価格が上昇する。
2. 商品が不足するため、売り手が在庫を確保しようと販売を控え、価格が下落する。
3. 商品が売れ残るため、在庫を減らすために売り手が値下げを行い、価格が下落する。
4. 商品が売れ残るため、希少価値が高まったと判断され、価格が上昇する。

問9 市場経済において、価格と需要量の関係を表した「需要曲線」の性質と、価格が変動した際の消費者の動きについて説明したものととして、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2025年 山梨公立入試 類似）

1. 価格が下がると、その商品より多く買おうとする人が増えるため、需要曲線は右下がりの曲線となる。
2. 価格が下がると、その商品の希少価値がなくなって買いたい人が減るため、需要曲線は右上がりの曲線となる。
3. 価格が上がると、家計の支出を抑えるために買いたい量が増えるため、需要曲線は右下がりの曲線となる。
4. 価格が上がると、より質の高い商品求めて買いたい量が増えるため、需要曲線は右上がりの曲線となる。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 生産工程を細分化することで、全体の生産効率を向上させること	分業を行うことで、それぞれの労働者が特定の作業に専念できるようになり、作業の熟練度が上がります。その結果、一人が全工程を担うよりも短時間で多くの製品を作ることが可能になり、社会全体や企業における生産効率が劇的に向上します。
問2	答え 2 公共料金	市場経済では需要と供給によって価格が決定されるのが原則ですが、生活に不可欠なサービスや、少数の企業が市場を支配しやすい事業については、消費者の生活を保護するために公的機関が価格の設定に関与しています。これを公共料金と呼び、市場価格とは区別されます。
問3	答え 1 多数の生産者から商品を集め、それを多くの小売業者へ小分けにして配送することで、社会全体の取引回数を減らし効率を高める機能	卸売業は「中継ぎ」の役割を果たすことで、生産者と小売業者が直接取引する場合に比べて、社会全体の取引の数（配送や事務手続きなど）を大幅に削減する役割を担っています。これを「取引数節約の原理」と呼び、物流の効率化において非常に重要な仕組みとなっています。消費者に直接販売する、あるいは生産者が直接販売する形態は、卸売業の中抜き（直接流通）に該当するため、卸売業自体の機能説明としては不適切です。
問4	答え 1 公正取引委員会	独占禁止法（私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律）は、企業間の公正かつ自由な競争を促進するために制定されました。この法律の実効性を高めるために、内閣府の外局として設置され、独立して職務を行うのが公正取引委員会です。企業が話し合って価格を決める「カルテル」や、公共事業などの入札で事前に落札者を決める「談合」などを監視・摘発する役割を担っています。
問5	答え 2 少子高齢化の進展に伴う社会保障需要の拡大	日本では高齢化が急速に進んでいるため、高齢者向けの介護サービスや医療サービスに対する需要が年々増加しています。これが第三次産業の中でも特に医療・福祉分野の生産額を押し上げる要因となっており、日本の産業構造が人口構成の変化に密接に関わっていることを示しています。
問6	答え 1 買い手よりも売り手の希望が上回る超過供給の状態であり、価格には下落圧力が加わる	グラフ上で供給曲線の数量が需要曲線の数量より右側にある（＝数量が多い）ということは、供給量が需要量を上回っていることを意味します。この「売れ残り」がある状態では、市場原理（価格の自動調節作用）が働き、価格を下げることによって需要を増やし供給を抑えようとする調整が行われます。このプロセスを経て、市場は再び均衡点へと近づいていきます。
問7	答え 1 ケネディ	1960年代初頭、大量生産・大量消費の社会において消費者が不利益を被るケースが増えたことを背景に、ケネディ大統領が議会への教書の中でこの権利を明確に示しました。他の選択肢の人物は、南北戦争期のリンカーンや、第一次世界大戦期のウィルソンなど、異なる時代の人物です。
問8	答え 1 商品が不足するため、買い手の間で競争が起こり、価格が上昇する。	需要量（消費者が買いたい量）が供給量（生産者が売りたい量）を上回っている状態では、市場でその商品が不足します。このとき、代金を多めに払ってでも手に入れたいという買い手が増えるため、市場価格は上昇します。逆に、供給量が需要量を上回る「超過供給」のときには、商品が売れ残るため価格は下落します。
問9	答え 1 価格が下がると、その商品をより多く買おうとする人が増えるため、需要曲線は右下がりの曲線となる。	市場経済では、消費者は「安ければたくさん買い、高ければ買い控える」という行動をとります。これをグラフに表すと、縦軸の価格が下がるほど横軸の数量が増えていくため、グラフの形状は右にいくほど下がる「右下がり」の曲線になります。これが需要曲線の基本的な性質です。